

2023年4月5日

報道各位

優れたクリエイティブを表彰する日本最大級のアワード  
「2023 63rd ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」を開催  
6月1日(木)よりエントリー受付を開始  
～「PR部門」を新設し、全9部門にて作品を募集～

一般社団法人 ACC (英文名: All Japan Confederation of Creativity、東京都港区、理事長: 高田 坦史)は、あらゆる領域のクリエイティブを対象としたアワード「2023 63rd ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」(URL: <https://www.acc-awards.com/>)を開催、エントリーを2023年6月1日(木)より開始いたします。

63回目の開催となる本年は、昨年までブランデッド・コミュニケーション部門・Cカテゴリーに据えていた「PR」を部門として独立させ、新たに眞野 昌子氏(日本マクドナルド/広報部 部長)を審査委員長に迎えスタートいたします。



応募部門は、フィルム部門、フィルムクラフト部門、ラジオ & オーディオ広告部門、マーケティング・エフェクティブネス部門、ブランデッド・コミュニケーション部門、PR部門(2023年度新設)、デザイン部門、メディアクリエイティブ部門、クリエイティブイノベーション部門の全9部門です。

作品のエントリーは、6月1日(木)～6月30日(金)18時までです。

本日、各部門の審査委員長を「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイトにて発表いたしました。なお、各部門の応募要項については5月中旬の発表を予定しております。

「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」では、より多くの秀逸な作品を顕彰することで、さまざまな企業や団体、クリエイターの日頃の取り組みに光を当てると共に、更なる日本のクリエイティビティの発展に貢献すべく努めてまいります。

**【PR 部門審査委員長 眞野 昌子氏 メッセージ】**

いま、求められる「社会と手をつなぐクリエイティビティ」をさがしに。

昨今、情報入手手段やマーケティングの多様化に伴い、一方的なアプローチではなく、社会や人々とのように手を携えるか、が重視されるようになりました。

それは、PR、つまりパブリック・リレーションズが目指す、さまざまなステークホルダーの視点を理解して、新聞・テレビ報道やオンラインメディアを通したメッセージ発信で、多くの生活者の皆さんの関心に寄り添い、想いを共有すること。

そのような時代のニーズを捉え、今年、ブランデッド・コミュニケーション部門 C カテゴリーが独立し、新たに「PR 部門」として誕生しました。

クリエイティビティは今や「広告」だけにとどまらず、「PR・広報」の領域においても可能性を拡張すべきものであり、このたびの「PR 部門」の新設は、“ソーシャルを起点とした発想からアクションを仕掛け、生活者と意識を共有する”といった PR ならではの視点や技を共有し、クリエイティビティを前進させるものと考えています。

ACC 賞といえば宣伝・広告業界のものというイメージが強く、これまで距離を感じていた方もいらっしゃるかもしれません。

PR 部門では、コーポレート PR やマーケティング PR、ソーシャルキャンペーンはもちろんのこと、パブリックアフェアーズ、リスクマネジメント、CSR 活動/SDGs 活動、インナーコミュニケーションといった領域においても広く募集し、クリエイティビティを発揮して仕掛けたプロジェクトを表彰します。

皆様の積極的なエントリーをお待ちしております。

**「2023 63rd ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」概要****【エントリー期間】**

- ・前期料金対象期間：6月1日(木)～6月15日(木)23:59 まで
- ・後期料金対象期間：6月16日(金)～6月30日(金)18:00 まで

**【入賞作品発表】**

- ・ショートリスト発表：9月下旬～10月中旬  
発表のタイミングは部門ごとに異なります。
- ・各部門グランプリなど全入賞作品発表：11月上旬  
詳細が決まり次第、アワードサイトにてお知らせいたします。



【部門構成 <全9部門>】

■フィルム部門

- A カテゴリー：テレビ CM
- B カテゴリー：Online Film

■フィルムクラフト部門

■ラジオ & オーディオ広告部門

- A カテゴリー：ラジオ CM
- B カテゴリー：オーディオエグゼキューション

■マーケティング・エフェクティブネス部門

■ブランデッド・コミュニケーション部門

- A カテゴリー：デジタル・エクスペリエンス
- B カテゴリー：プロモーション/アクティベーション
- C カテゴリー：ソーシャル・インフルエンス

■PR 部門 ※新設

■デザイン部門

■メディアクリエイティブ部門

■クリエイティブイノベーション部門

【審査委員長】

■フィルム部門

細川 美和子（（つづく）／CREATIVE DIRECTOR、COPY WRITER)

■フィルムクラフト部門

多田 真穂（電通クリエイティブ X／エグゼクティブプロデューサー、エグゼクティブオフィサー）

■ラジオ & オーディオ広告部門

古川 雅之（電通（Creative KANSAI）／グループ・クリエイティブ・ディレクター、CM プランナー、コピーライター）

■マーケティング・エフェクティブネス部門

簗部 敏彦（花王／作成センター コミュニケーション作成部 コミュニケーション作成部長）

■ブランデッド・コミュニケーション部門 ※新任

尾上 永晃（電通／プランナー）

■PR 部門 ※新設

眞野 昌子（日本マクドナルド／広報部 部長）



■デザイン部門

太刀川 英輔 (NOSIGNER CEO/JIDA(公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会)理事長/  
進化思考提唱者/2025 大阪関西万博日本館基本構想クリエイター)

■メディアクリエイティブ部門

中谷 弥生 (TBS テレビ/取締役)

■クリエイティブイノベーション部門

中村 洋基 (PARTY Creative Director, Founder/ヤフー メディアカンパニーMS 統括本部 ECD/  
電通デジタル客員 ECD/combo 代表取締役)

< 「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」 特設サイト >

URL : <https://www.acc-awards.com/>

< 主催 : 一般社団法人 ACC >

URL : <https://www.acc-cm.or.jp/>

【ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS とは】

「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」は、テレビ、ラジオ CM の質的向上を目的に、1961 年より開催する広告賞「ACC CM FESTIVAL」を前身とし、2017 年よりその枠を大きく広げ、あらゆる領域におけるクリエイティブを対象としたアワードにリニューアルしました。

名実ともに、日本最大級のアワードとして広く認知されており、ACC グランプリはクリエイティブにたずさわる人々の大きな目標となっています。

【ACC とは】

よい CM の制作と放送の実現に寄与することを目的として、1960 年に活動を開始しました。

ACC は、広告主・広告会社・制作会社・メディアの 4 業種のメンバーを中心に構成され、業種の枠を超え、グローバルな視点から日本のクリエイティブの発展に貢献すべく活動しています。

本件に関するお問い合わせ

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ユニオンビル 6F

TEL : 03-3500-3261 FAX : 03-3500-3263 URL : <http://www.acc-cm.or.jp>

一般社団法人 ACC 担当 : 平川

## 資料 1

「2023 63rd ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」  
各部門 審査委員長 紹介

## ■フィルム部門 細川 美和子 氏

(つづく)  
CREATIVE DIRECTOR / COPY WRITER

グループ・クリエイティブ・ディレクターを経て、2021年電通から独立。  
2022年1月クリエイティブ・ディレクター・コレクティブ(つづく)を設立。  
言葉を中心に、広告とPR、マスとソーシャルをかけあわせ、世の中と関係を作りながら、長く愛される物語のあるブランド作りを志す。

## 【受賞歴】

ACC グランプリ、TCC 賞、朝日広告賞グランプリ、日経広告大賞、フジサンケイグループ広告大賞、ギャラクシー賞、カンヌゴールド、アドフェスグランプリ、ONE SHOW など。

## 【審査委員歴】

カンヌフィルム審査員、アドフェスフィルム審査員、スパイクスフィルム審査員、TCC 審査員、YouTube Works Awards 審査委員長など

## 【主な作品】

アテント「#常識をはきかえよう」、パンテーン「#この髪どうしてダメですか」、宮崎県日向市「ヒュー!日向!マッチング短歌」、グリーンダ・カ・ラ「やさしいのがいちばん」、ユニクロ「あなたと歩く。ユニクロのジーンズ」、LUMINE&NEWoMan「この秋も、100年先もワクワクしたい。」、東京ガス「家族の絆」シリーズ、など。

## ■フィルムクラフト部門 多田 真穂 氏

電通クリエイティブ X  
エグゼクティブプロデューサー / エグゼクティブオフィサー

1991年 電通プロックス入社。プロダクションマネージャーを経てプロデューサーとなり、CMを中心に、映画・ドラマ・MV・ショートフィルム・テレビ番組など、多種多様な映像制作に携わる。

ACC・CANNES・ADFEST 他受賞。

Suntory オールフリー / オランジーナ / 「話そう。」 / 飲食店支援キャンペーン等担当。

映像制作から拡張したプロダクションの新しい未来像を思い描き、2019年「Dentsu Craft Tokyo」を立ち上げる。

「Dentsu Craft Tokyo」では、テクノロジー・デザイン・プロデュース、各領域のトップクリエイターが会社の枠組みを越えて中目黒オフィスに同居し共創し、着想力と実現力の両方を強みに、常に新しいソリューションにチャレンジしている。

## ■ラジオ&amp;オーディオ広告部門 古川 雅之 氏



電通 (Creative KANSAI)

グループ・クリエイティブ・ディレクター、CMプランナー、コピーライター

1969年九州生まれ、大阪育ち。

グラフィックプロダクション、(株)大広を経て99年電通入社。

「無視されない広告を」「できればユーモアで解決したい」がモットー。

TCC (東京コピーライターズクラブ) 会員。OCC (大阪コピーライターズクラブ) 会長。

## 【受賞歴】

ACC テレビグランプリ 2010 (梅の花) /

ACC ラジオグランプリ 2019・2021 (キンチョウ) /

TCC グランプリ 2017 (赤城乳業) / TCC グランプリ 2020 (キンチョウ) /

クリエイター・オブ・ザ・イヤー特別賞 2017 /

佐治敬三賞 2007 / アドフェストグランデ (赤城乳業) /

JAA 消費者のためになった広告グランプリ (赤城乳業) /

日経広告賞大賞 / 読売広告大賞グランプリ / 新聞広告大賞などに当選。

## 【主な仕事】

大日本除虫菊 (キンチョウ) / TVCM: キンチョール、虫コナーズ、ゴンゴン、ムエンダー、コバエがポットン、ティンクル、サンポールなど。新聞広告: 「超難解折り紙」「新元号キンチョール」「もうどう広告したらいいかわからない」「いま、いいよね一方通行の新聞広告」など。R-CM: 「いま聞きたいストーリー」「G作家の小部屋」「なな子と光三郎」「Hさんの話」「虫コナーズで名言を」「棒夫婦」など。赤城乳業 / TVCM: ガリガリ君「値上げ広告」、BLACK (ゆるメーション)、ミルクレア (わしもないねんおじさん)、ソフ (ソフトクリームの上だけ)、ガツン、とみかん (リモートガツン) など。日清紡 / TVCM: ドッグシアター (犬の二人羽織)、クマーシャル劇場、歌おう! ニッシンボー!。福井新聞 / 家族で話そう。など

## ■マーケティング・エフェクティブネス部門 箕部 敏彦 氏



花王

作成センター コミュニケーション作成部 コミュニケーション作成部長

コピーライターとして花王株式会社に入社。

ヘアケア、スキンケア、ヘアコスメ、ファブリックケア、ホームケア、化粧品などの各ブランドや RecyCreation など、コミュニケーションの企画制作を担当。

2017年よりクリエイティブディレクターを務め、部長 (ファブリック&ホームケア担当) を経て、2020年1月より現職。

## 【主な仕事】

アタック Neo、アタック ZERO、キュキュット、ソフィーナ iP のローンチのコミュニケーション開発。キュキュットのブランド名や、「すすいだ瞬間、キュキュットと落ちてる」コピー開発など。

## 【審査委員歴】

2018年～ 広告電通賞 選考委員

2020年～ ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS ME 部門 審査委員



## ■ブランデッド・コミュニケーション部門 尾上 永晃 氏 ※新任

**電通  
プランナー**

東京理科大学大学院で建築・都市デザインを専攻ののち、2009年電通入社。デジタルを核にしつつ、CM・イベント・まちづくり・脚本など、効果が出そうなことならなんでもやる雑食主義者。世間をぐわっと巻き込む耕運機のようなキャンペーン設計を意識して生きている。料理をするのが好きです。

**【受賞歴】**

カンヌ、文化庁メディア芸術祭、読売新聞広告賞、TCC 新人賞など

**【審査委員歴】**

CANNES、ADFEST、TCC、NewYorkFestival、ADSTARS、販促コンペなど

**【主な仕事】**

リラックマとカオルさん、駄言辞典、すき家、ピノゲー、ドラゴンクエスト・ウォーク、宮本浩次ソロブランディング、チキンラーメン アクマのキムラー、池上線フリー乗車 DAY、こち亀 40 周年&終了/201 巻キャンペーン、10 分どん兵衛、コピー年鑑 2022 編集長など

## ■PR 部門 眞野 昌子 氏 ※新設

**日本マクドナルド  
広報部 部長**

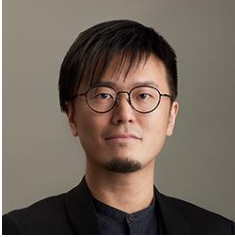
外資系 PR 代理店、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社を経て 2019 年 10 月より現職。

国内外のヘルスケア企業、日用品メーカー、米国農務省、外資系金融機関など、さまざまな業界のマーケティング、プロモーション、啓発キャンペーン、危機管理広報や、インナーコミュニケーション、コーポレートコミュニケーションに携わる。日本マクドナルドでは、対外広報及び IR 広報を担当。

ダイバーシティ・イクイティ&インクルージョンを推進する社員グループのリーダーも務める。

PR プランナー

## ■デザイン部門 太刀川 英輔 氏

**NOSIGNER CEO****JIDA(公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会)理事長****進化思考提唱者****2025 大阪関西万博日本館基本構想クリエイター**

未来の希望につながるプロジェクトしかしないデザインストラテジスト。SDGs、再生可能エネルギー、地域活性などの数々のプロジェクトでデザインと総合的な戦略や事業構想を描く。

デザイナーとして、インダストリアルデザイン、グラフィック、建築などで高い表現力を発揮し、これまでにグッドデザイン賞金賞、アジアデザイン賞大賞、ドイツデザイン賞金賞他、国内外を問わず 100 以上のデザイン賞を受賞。グッドデザイン賞、ACC 賞、DFAA (Design for Asia Awards)、WAF (World Architecture Festival) 等の審査委員を歴任。日本で最も歴史ある全国デザイン団体、JIDA の理事長を歴代最年少で務める。

産学官の様々なセクターの中に変革者を育むため、生物の進化という自然現象から創造性の本質を学ぶ「進化思考」という新たな教育法を提唱。この進化思考は生物学者・経済学者らが選ぶ日本を代表する学術賞「山本七平賞」を受賞し、ベネッセ主催の「高等教育の未来を考える」委員会にて座長を務めるなど、本質的な創造性教育への更新を目指している。

主なプロジェクトに、OLIVE、東京防災、PANDAID、山本山、横浜 DeNA ベイスターズ、YOXO、2025 大阪・関西万博日本館基本構想など。

著書に『進化思考』（海土の風、2021 年）『デザインと革新』（パイ インターナショナル、2016 年）。

## ■メディアクリエイティブ部門 中谷 弥生 氏

**TBS テレビ****取締役**

1992 年 TBS 入社、情報番組、報道局政治部（官邸や自民党・野党担当）記者メディアビジネス局で、テレビコンテンツや映画のコラボキャンペーン・販促企画を手掛ける。

その後、編成局編成部、営業局営業推進センター長、メディアビジネス（映画・アニメ・海外・CS）局長、DX ビジネス（配信・SNS）局長を経て現在、営業局・メディアビジネス局・ライブエンタメ（舞台等）局担当取締役



## ■クリエイティブイノベーション部門 中村 洋基 氏



**PARTY Creative Director / Founder**  
**ヤフー メディアカンパニーMS 統括本部 ECD**  
**電通デジタル客員 ECD**  
**combo 代表取締役**

2000年より電通で、斬新なアプローチのバナー広告を次々と発表し、インタラクティブCDを経て独立・PARTY共同創設。「ナラティブとテクノロジーで未来の体験をつくる」をミッションに掲げる。コミュニケーションを活用し爆発的にシェアを産むキャンペーンが得意。

東京FM「澤本・権八のすぐに終わりますから」毎回ゲスト。文化放送「アニソンPARTY!」プロデュース。表参道のコーヒーショップ「TINTO COFFEE」経営。自分の価値を売買できるサービス「VALU」発起人。

起業家・投資家としてスタートアップの投資・支援を数多く行っているが、上場株に投資するとなぜか暴落する。

## 【受賞歴／審査委員歴／主な作品・お仕事】

Cannes Lions グランプリ、One Show、D&AD、ADFEST など国内外 300 以上を受賞。

Cannes Lions、D&AD、One Show など国内外のアワードの審査員を歴任。

予防医療普及協会理事

主な仕事に「スラムダンク あれから 10 日後」「ジャンプフェスタ ONLINE」

RADWIMPS「SHIN SEKAI」「バレンタインポスト」「UNIQLO LUCKY SWITCH」

「Ole!Ole!CR-Z」「TEHAI」など。

事業に「VALU」「combo」。